

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	早島町立早島中学校	実践者名	西澤 真里
教科	外国語	学年	第2学年
活用内容	オンライン英会話	実践日	令和3年9月13・14日 12月13・14日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	Lesson5「Things to Doing Japan」 お気に入りの季節・本・スポーツについて紹介しよう。		

活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

【概要】

生徒一人ひとりが、各自のタブレットを活用してフィリピンの英会話講師と一対一で英会話を行う。オンライン英会話の業者が独自に作成したワークシート6種類の中から文法事項と題材を教員が選び使用する。フィリピンとオンラインで繋ぎ、選んだ題材の中の3つのトピックから1つを選び、会話をする。今年度は2年生が9月・12月と2回実施した。

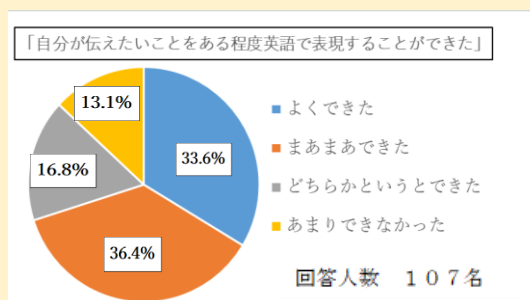
【前時まで】

- ・業者が作成したワークシートを使用し、3つのトピック (A 季節/B 本/C スポーツ) について各自伝えたい内容を考えながら空欄を埋める。
- ・どのトピックについて会話をするか決め、発音練習を行う。
- ・スムーズに接続を行うためにあらかじめログインしておく。



【本時】

- ・一人ひとりがオンライン英会話に集中して取り組むことができるように、距離を保ち、マイク付きヘッドフォンを使用して実施する。
- ・ログインの確認をし、困ったときに使える表現の練習を行う。
- ・選んだトピックについての会話や、やりとりを行う。
- ・接続終了後、ClassroomのFormsを使いオンライン英会話の振り返りを行う。



実践者の手ごたえ

1人1台の端末とマイク付きヘッドフォンが使用でき、オンライン英会話に最適の環境が整った。また、Formsで振り返りを行うことで、生徒の感想をリアルタイムで共有することができたことも良かった。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

1人1台端末を使用しマイク付きヘッドフォンがあることで、クラスメイトの声も気にならず、オンライン英会話に集中することができた。端末を使って海外の人と顔を見ながら交流ができ、実際に海外の人と会って話したいという意欲にもつながった。